

**放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）**  
**（児童ルームたちっキッズ 放課後等デイサービス）**

実施日：令和5年 10月2日～10月14日

公表：令和5年11月15日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制設備	①	利用定員が指導訓練室スペースと関係で適切であるか。	5	3		・個室が療育室内に併設していると良かった。
	②	職員の配置数は適正であるか。	7	1		・しっかりと守れている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配置が適切になされているか。	2	4	2	・玄関口階段の段差が大きい為、声掛けや必要時にはサポートをしていく。 ・歩行が不安定な児童には付き添いを行っています。 ・屋外からのアプローチには大きな段差があるが、室内には段差なし。 ・設備は整っている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	6	1	1	・ミーティングや申し送りノートの活用情報の共有化が出来ている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	7	1		・本年度からは保護者会も開催できるようになった。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会議やホームページ等で公開しているか。	8			・公開出来ている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか。	3	3	2	・第三者評価は入っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	8			・教育研修規程の則り、研修及び実施が出来ている。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			・ニーズや課題も主観的ではなく療育データの客観的な部分も踏まえて作成が出来ている。
適切な 支援の 提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	6	2		・標準化ツールのみでなくオリジナルツールも用いている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			・ミーティングにて行っている。 ・適切な行われている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか。	8			・固定化しないようにミーティングにて行う事が出来ている。 ・様々な工夫がされている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	8			・平日は集団療育や運動プログラム、休日・長期休暇はイベントに加え平日内容を実施できている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			・不登校児や個別訓練、集団療育等を個人に合わせて計画作成している。 ・よく考慮されている。
	⑮	支援開始前は職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	5	2	1	・打ち合わせや職員会議には勤務時間都合上参加ができないが申し送りや議事録にて確認を行っている。 ・集団療育や、運動療育、イベントにおいては役割を決め遂行出来ている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか。	4	3	1	・打ち合わせや職員会議には勤務時間都合上参加ができないが申し送りや議事録にて確認を行っている。 ・必ずある訳ではないが共有に努めている。 ・全体で反省を出し合い次回の支援に活かせるようにしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			・主観的な部分よりも客観的な記録を取り、検証・改善に繋がる様に努力している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	7	1		・定期的に行い、必要性に応じて計画に変更をしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	4		・放課後等デイサービスのガイドラインに則り支援を実施している。

関係機関や保護者との連携	① 障害児童支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい物が参加しているか。	8		・可能な限り参加しており、どうしても参加困難な際は事前に情報提供を送付している。	
	② 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	8		・学校や利用保護者を通して行っている。	
	③ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。	2	5	1	・医療的ケア児の受け入れなし
	④ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と総理解に努めているか。	8			・可能な限り、事業者側からアプローチをして情報の収集及び共有をしている。
	⑤ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	4		・保護者を通して実施出来ている。
	⑥ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3	4	1	・専門機関との連携については、ネットワーク会議等を通して行っている。
	⑦ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	2	1	5	・機会があれば導入していく。
	⑧ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4	4		・自立支援協議会ではないが、障がい福祉ネットワーク会議へは参加出来ている。
	⑨ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			・送迎時や連絡帳で日々の様子や活動の取り組みを伝えている。 ・送迎時や面談時に行う事が出来、連絡帳を通して行う事が出来ている。 ・保護者との連携が取れている。
	⑩ 保護者の対応力の向上を図る視点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。	4	3	1	・面談時や個別での話し合いの際に実施出来ている。
保護者への説明責任等	⑪ 運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			・利用契約時に行う事が出来ている。
	⑫ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	8			・相談があった際には各職員にも伝え対応を相談するようにしている。 ・可能な限り面談時に行う事が出来、また、送迎時にも行う事が出来ている。
	⑬ 父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	6	2		・今年度より開催が出来ている。
	⑭ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合は迅速かつ適切に対応しているか。	7	1		・何かあった際は全体で話し合う事が出来ている。
	⑮ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8			・毎月のお便り発行やHP上にも載せる事が出来ている。 ・内容の充実したものが発行されている。
	⑯ 個人情報に十分注意しているか。	8			・十分に出来ている。
	⑰ 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			・スケジュールを見て確認ができるようになっている。
	⑱ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	2	・今のところ地域に向けたアプローチは実施出来ていない。
非常時等の対応	⑲ 緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	7	1		・保護者へは利用契約時、職員へは入職時に説明を実施している。
	⑳ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			・年1回の総合訓練と年2回の避難訓練を実施出来ている。
	㉑ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1		・毎年虐待の研修と中途採用での職員がいた場合は、その都度研修を行う事が出来ている。
	㉒ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織等に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	2		・現在拘束の対象者はいないが、虐待の研修と共に身体拘束に係る研修を実施出来ている。
	㉓ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			・アレルギーには十分配慮し対応をしている。
	㉔ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	8			・作成後全体で共有する事が出来ている。